

平成24年度 第2回 幕別町社会教育委員会議

日時 平成24年11月19日 15:00

場所 幕別町教育委員会会議室

日 程

1 あいさつ 幕別町社会教育委員会委員長 岩谷 史人

2 報告事項

報告第1号 全国社会教育研究大会参加報告について

報告第2号 北海道社会教育研究大会参加報告について

報告第3号 社会教育係所管事業の報告について

報告第4号 社会体育係所管事業の報告について

報告第5号 生涯学習係所管事業の報告について

報告第6号 図書館所管事業の報告について

報告第7号 幕別町百年記念ホール指定管理について

報告第8号 『歴史の散歩道』の新規選定について

3 その他

○平成24年度 幕別町社会教育委員名簿

番号	氏名	備考
1	ひろた よしつぐ 廣田 佳次	(1)学校教育関係者
2	すずき じょうじ 鈴木 譲二	(1)学校教育関係者
3	いわたに ふみひと 岩谷 史人	(2)社会教育関係者
4	にしだ ゆみこ 西田 由美子	(2)社会教育関係者
5	あおやなぎ けいこ 青柳 恵子	(2)社会教育関係者
6	うしお よしみ 牛尾 義美	(2)社会教育関係者
7	こもり かずひこ 小森 和彦	(3)学識経験者
8	いはら みさえ 井原 みさえ	(3)学識経験者
9	よこやま わたる 横山 渡	(3)学識経験者
10	むらた さとし 村田 敏	(3)学識経験者
11	きのした ひとみ 木下 ひとみ	(3)学識経験者
12	ふかまつ としひで 深松 俊英	(3)学識経験者
13	てらおか みきこ 寺岡 美希子	(3)学識経験者
14	やまぐち ゆみこ 山口 由美子	(3)学識経験者
15	しんぼ みやこ 新保 都	(3)学識経験者

任期：平成26年 5月29日まで

2 報告事項

報告第1号 第54回全国社会教育研究大会について

- (1) 日 時 平成24年10月25日(木)～26日(金)
- (2) 場 所 山梨県甲府市
- (3) 参加者 1名(岩谷委員長) ※十勝社会教育委員協議会会長
- (4) 研究主題 「地域の絆を深め 活力を生む新しい社会教育を創る」

報告第2号 第52回北海道社会教育研究大会について

- (1) 日 時 平成24年11月1日(木)～2日(金)
- (2) 場 所 登別市(登別市民会館、第一滝本館)
- (3) 参加者 5名(岩谷委員長、鈴木副委員長、横山委員、澤部課長、宮下主査)
- (4) 研究主題 「新しい公共の担い手育成と地域の活性化について」

報告第3号 社会教育係所管事業の報告について

1 メルローズハイスクール研修生受け入れ事業について

- (1) 受入日程 平成24年7月9日(月)～16日(月)
- (2) 受入生徒 メルローズハイスクール研修生33名、引率教諭4名
- (3) 研修内容 町内の中学生・高校生在宅家庭(23戸)にホームステイしながら、学校体験(町内全中学校)、茶道、剣道、十勝管内バス見学、調理実習(カレーライス作り)等を体験。

2 夏休み「学び隊」について

- (1) 開催日程 平成24年8月6日(月)～10日(金) 9:30～11:30
- (2) 会 場 幕別町民会館、札内福祉センター、札内南コミセン、札内北コミセン
- (3) 参加対象 幕別町内の小学4年生から6年生(定員各会場20名程度)
- (4) 保 険 料 420円(傷害保険)
- (5) 内 容 学習は自習形式で学習教材・用具は各自で用意。
講師は、児童の質問に答え自主学習をお手伝い。
8月9日(木)は、よつ葉乳業十勝主管工場(音更町)を見学しました。
- (6) 指導講師 町民会館：西田 久、笠松信一
札内福祉センター：高間與一郎、佐藤 清、喜多 仁、鈴木志摩子
札内南コミセン：伊賀政義、須崎 昇、笹原勝義、大西隆之
札内北コミセン：長尾 稔、南 輝雄、若山茂樹、豊田寛昭
- (7) 参加者 幕別2名(幕小2名) 札内福祉センター21名(白人小21名)
南コミセン18名(札内南小16名、札内北小2名)
北コミセン23名(札内北小23名) 合計64名

3 主催講座について

- (1) 講座名 小・中学生のための出前ものづくり体験教室「ロボットでスイッチ ON！」
日 時 平成 24 年 8 月 8 日（水）11：45～16：00
講 師 釧路工業高等専門学校 岸 徳光 校長 他 7 名
参加者 10 名（小学生 5 年生～中学生 2 年生） ※応募 15 名
内 容 昨年度に引き続き釧路高専との共催で開催。プラスチック製ブロックでタイヤ付きロボットを組み立てた後、パソコンで操作したい動きのプログラムを作成し、ロボットに搭載した。また、自分でプログラミングしたメロディーが鳴るスイッチ（ブザー）を作成して持ち帰った。
- (2) 講座名 秋の自然散策会「キノコ狩り」
日 時 平成 24 年 10 月 14 日（日）9：00～14：30
講 師 NPO 帯広キノコの会
参加者 10 名
内 容 駒島地区の道有林でキノコを採集し、公民館で鑑定会を実施。採集したキノコはキノコ汁にして食した。

4 ジュニアサタデースクール宿泊研修について

- (1) 開催日程 平成 24 年 9 月 1 日（土）～2 日（日）
(2) 場 所 北海道立足寄少年自然の家「ネイパル足寄」
(3) 参加対象 幕別町内の小学 4 年生から 6 年生
(4) 参加費 3,000 円（宿泊料・朝食・昼食・夕食・保険料込）
(5) 内 容 仲間作りゲーム、サイクリング体験、野外炊飯（バーベキュー）、レクリエーションを行いました。
日常生活を集団で過ごすことにより、身支度、マナー・ルール、親のありがたさなどに気づいてくれたと思います。
- (6) 引 率 者 社会教育係 宮下年功、トレーニング指導員 星屋新司、山本鈴菜、矢野 士、柴山衣理
(7) 参 加 者 幕別小 4 人、白人小 7 名、南小 5 名、北小 8 名 計 24 名

5 まくべつ芸術祭の開催について

- (1) 日 程 平成 24 年 10 月 28 日（日）、11 月 1 日（木）～4 日（日）
(2) 場 所 百年記念ホール他
(3) 内 容 カラオケ発表会、作品展、菊花展、薄茶席、バレエ・バトン発表会、一般舞台発表、ダンスの夕べ

6 学校芸術鑑賞事業について

- (1) 日 程 平成 24 年 11 月 14 日（水）～16 日（金）
- (2) 場 所 百年記念ホール
- (3) 内 容 音楽鑑賞 小学生・中学生

7 平成 24 年度(第 41 回)十勝社会教育委員研修会について

- (1) 日 時 平成 24 年 11 月 28 日（水）10：00～
- (2) 場 所 幕別町民会館 大集会室

8 平成 25 年成人式について

- (1) 日 時 平成 25 年 1 月 13 日（日）13：30～
- (2) 場 所 町民会館 大集会室
- (3) 対象者 町内在住で H4 年 4 月 2 日～H5 年 4 月 1 日に生まれた方（9 月現在 239 人）
- (4) 記念品 木製フォトフレーム
- (5) 昨年度 町内在住者 246 名、町外転出者 51 名、計 297 名中当日 224 名出席

報告第4号 社会体育係所管事業の報告について

1 プロ野球イースタンリーグ公式戦

(1) 野球教室

- ① 日時 平成24年7月27日(金) 17:00～
- ② 場所 幕別運動公園ソフトボール場
- ③ 参加者 町内野球少年団4チーム 106名
- ④ 内容 北海道日本ハムファイターズの選手などが野球指導

(2) プロ野球イースタンリーグ公式戦

- ① 日時 平成24年7月28日(土) 13:00～
- ② 場所 幕別運動公園野球場
- ③ 主催等 (主催) 北海道日本ハムファイターズ
(共催) プロ野球イースタンリーグ公式戦幕別実行委員会、
幕別町、幕別町教育委員会
- ④ 対戦カード 北海道日本ハムファイターズ 対 東北楽天ゴールデンイーグルス
- ⑤ 内容
 - ア. 入場者数～公式発表 2,233人
 - イ. 無料招待
 - ・野球少年団(外野自由席) 78名 ※球団負担
 - ・来賓(来賓席) 7名 計 85名
 - ウ. 協賛団体 幕別建設業協会他8団体
 - エ. 実行委員数 20団体24名(町、教委職員含)
 - オ. 協力人員 (前日)36名 (当日)149名 (延べ)185名

2 ロンドンオリンピック関係(福島千里選手 山本幸平選手)

ロンドンオリンピックに出場した町出身の福島千里選手(陸上)と山本幸平選手(マウンテンバイク)を応援するための実行委員会を立ち上げ、横断幕の設置、壮行会、パブリックビューイングなどの事業を実施。

(1) 主な事業内容

- ① ポスター 公共施設など113箇所114枚を掲示
- ② 激励サイト 町のホームページに応援メッセージ投稿サイト開設
- ③ 横断幕 役場庁舎など9箇所に設置
- ④ 壮行会
 - ア. 日時 平成24年6月18日(月) 16時30分～
 - イ. 場所 百年記念ホール 大ホール
 - ウ. 入場者 約500人
- ⑤ パブリックビューイング(百年記念ホール講堂)
 - 8/4(陸上女子100m予選) 120人、8/7(陸上女子200m予選) 80人、
 - 8/10(陸上女子4×100mリレー予選) 60人 延べ260人

3 平成 24 年度十勝管内スポーツ推進委員研修会

- (1) 日 時 平成 24 年 8 月 30 日 (木) 午後 1 時 30 分
- (2) 場 所 本別町体育館 2 階中ホール
- (3) 講 演 「本別、オリンピックの夏に考える～バロン西と空襲～」
講 師 本別町歴史民俗資料館長 田野 美妃氏
語り部 本別町歴史民俗資料館友の会 細岡 幸男氏

4 第 2 回ウォークラリーまくべつ (主催 スポーツ推進委員会)

- (1) 日 時 平成 24 年 9 月 29 日 (土) 8:00～
- (2) 場 所 集合 札内南コミセン コース 幕別温泉周辺一周 6.8Km
- (3) 参加者 小学生 4 名、一般 26 名 役員 16 名 計 46 名

5 平成 24 年度 第 2 回まくべつマラソン大会 (主催 まくべつマラソン大会実行委員会)

- (1) 日 時 平成 24 年 10 月 13 日 (土) 9:00～
- (2) 場 所 運動公園陸上競技場
- (3) 種 目 小 1・2 男女 1km、小 3・4 男女 2km、小 5・6 男女 3km、中学生男女 5km、
高校生男女 5km、一般男女 (年齢制限なし) 1km、一般男女 (年齢別 60 歳
未満、60 歳以上) 3km、一般男女 (年齢別 60 歳未満、60 歳以上) 5km
- (4) 参加者 小学生 91 名、中学生 17 名、高校生 0 名、一般 12 名 計 120 名

6 エアロビクス

- (1) 日 時 平成 23 年 1 月より
- (2) 場 所 札内スポーツセンター、農業者トレーニングセンター
- (3) 対 象 高校生以上で町内在住者
- (4) 内 容 身体全体を動かすプログラムですので、始めのうちは軽い運動から数回行
い、現在は中程度の運動を行っている。(参加者 = 1 講座 15 人前後)
- (5) 指 導 町トレーニング指導員

7 ズンバ (ZUMBA)

- (1) 日 時 平成 24 年 2 月より
- (2) 場 所 札内スポーツセンター、農業者トレーニングセンター
- (3) 対 象 高校生以上で町内在住者
- (4) 内 容 ラテン系の音楽に乗り、身体全体を動かすプログラムです。
(参加者 = 1 講座 12 人前後)
- (5) 指 導 町トレーニング指導員

報告第5号 生涯学習係所管事業の報告について

1 埼玉県上尾市子ども会交流事業（受入）について

(1) 受入日程

☆平成24年度 上尾市子ども会交流事業日程表(全行程)

日	時間	行 程	場 所
7月27日（金）	13:00	とから帯広空港到着	帯広市
	13:40	昼食	忠類 食堂このみ
	14:30	ナウマン象記念館見学	忠類ナウマン象記念館
	15:00	パークゴルフ	忠類公園 チャンピオンコース
	16:00	岩谷さん手づくりアイス	忠類公園 PG場クラブハウス付近
	16:30	ナウマン公園を徒歩で出発～福寿へ	
	16:40	ふれあいセンター福寿着	
	17:00	受入式 受入式終了後記念撮影	ふれあいセンター福寿 多目的ホール
7月28日（土）	18:00	解散・各家庭へ	
	8:30	ふれあいセンター福寿前集合・出発	
	9:30	十勝エコロジーパーク到着 公園内でフリータイム	音更町
	11:00	十勝エコロジーパーク出発	
	11:20	明野ヶ丘公園到着 昼食	幕別町 明野ヶ丘公園
	12:20	明野ヶ丘公園出発	
	12:30	幕別運動公園野球場到着 プロ野球イースタンリーグ 日本ハム×楽天	幕別町 運動公園野球場
	14:50	幕別運動公園野球場出発	
	15:40	忠類丸山展望台到着	忠類 丸山展望台
	16:10	忠類丸山展望台出発	
7月29日（日）	16:30	ふれあいセンター福寿前到着・解散 ※ちゅうるい夏祭り開催日	
	終日	フリータイム 【各家庭で1日過ごす】	
7月30日（月）	8:30	ふれあいセンター福寿前集合・出発	
	9:00	大樹町晩成 生花苗沼 カヌー体験	大樹町
	11:30	大樹町晩成 出発	
	12:00	ナウマン温泉アルコ236到着 昼食	
	13:40	アルコ236前出発	
	14:00	荒川農場到着 農作業体験	幕別町忠類幌内
	16:15	荒川農場発	
7月31日（火）	16:30	ふれあいセンター福寿前到着・解散	
	9:00	ふれあいセンター福寿に集合	
	9:30	お別れ式	
	10:00	ふれあいセンター福寿前出発	
	10:20	花畑牧場到着 フリータイム	中札内村
	11:30	花畑牧場出発	
	11:45	開拓村(昼食)	
	13:00	幸福駅到着	帯広市大正町
	14:00	幸福駅出発	
	14:20	とから帯広空港到着	
	15:20	とから帯広空港発	

(2) 受入研修生 3年1名、4年1名、5年2名、6年3名 計7名

(3) 引率者 7名、上尾市長、上尾市総務部次長が期間中に幕別町を表敬訪問

① 上尾市子ども会連合会 5名

② 上尾市青少年課 2名

(4) 受入家庭 札内地区1戸、忠類地区7戸（1名を2戸で受入）

2 忠類文化展の開催について

- (1) 日 時 平成24年11月1日(木)～3日(土・祝)
9:00～20:00(3日は16:00まで)
- (2) 場 所 忠類コミュニティセンター 大ホール・ロビー
- (3) 展示物 花、手芸、書道、陶芸、盆栽、保育所・小・中学生・学童保育所の作品

3 忠類芸能チャリティショーの開催について

- (1) 日 時 平成24年11月17日(土) 開演12:30 終演16:15
- (2) 場 所 忠類コミュニティセンター 大ホール
- (3) 種 目 舞踊、カラオケ、民謡、詩吟、ダンス、バトン、ピアノほか

報告第6号 図書館所管事業の報告について

【平成24年度実施事業】

1 学校図書館支援事業

○支援の目的

第2期幕別町子どもの読書活動推進計画の大きな柱の一つに、「学校図書館の整備・充実」を掲げました。学校図書館の図書標準達成率の低い小学校を中心に、図書資料等の整備・充実に努め、ボランティアの連携・協力を得ながら、子どもたちの読書環境の充実を図るためのお手伝いをしています。

平成23年度から3年計画で毎年3校ずつ実施する計画です。23年度は幕別小学校・明倫小学校・忠類小学校を、24年度は白人小学校・札内北小学校で実施中です。



2 読書週間事業 ～「よむとも 2012」

○事業の目的

一人でも多くの方に図書館を利用していただこうと平成23年度に実施した「よむとも100」は、年間貸出冊数が再び20万冊を超えるという効果に結びつきました。

昨年と同様に24年度も、春の「こども読書週間」と秋の「読書週間」のロングラン企画としてスタンプラリー「よむとも 2012」を実施しています。(5/2～11/29)

図書館で本を借りるとスタンプを1個押していきます。

(ただし1日1回限り)

- ・10個集めると：よむともジュニア
- ・20個集めると：よむともリーダー
- ・30個集めると：よむともマスター

個々の目標に応じて挑戦してもらい、達成者には、がんばりを称える缶バッジをプレゼントしています。



よむとも 2012 エントリー数と達成者数

	本館	札内分館	忠類分館	計
エントリー数	355名	744名	72名	1,171名
達成者数	6名	10名	2名	18名

※平成24年10月31日現在

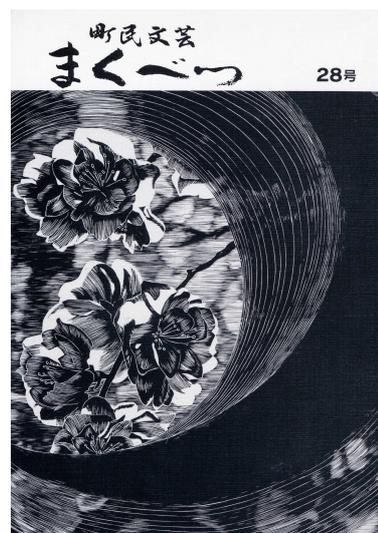


3 町民文芸「まくべつ」28号を発行

特集「ふるさとの学校物語」

28号の特集は「ふるさとの学校物語」—— 6人のみなさんが今はなき小学校の思い出をつづりました。先生に叱られながら走った廊下、楽しげな声と足音が響く体育館、日が暮れるまで遊んだグラウンド、今でも目を閉じると思い出す、幼い頃の学び舎での記憶。「十勝丘陵」の伊藤桂子さんの小説も連載。

お求めは、幕別町図書館(本館・札内分館・忠類分館)、幕別町役場・札内支所・忠類総合支所・糠内出張所どうぞ。
1冊 500円です。



 第29号(平成25年10月1日発行予定)の原稿を募集中(25.3.31まで)

4 その他

(1) みぢかな「いのち」の写真絵本 ～小寺卓矢さんワークショップ～

芽室町在住の写真家、小寺卓矢さんを講師に招き、「いのち」をテーマにしたワークショップを9月10日に明倫小学校、9月30日に百年記念ホールで開催しました。

【in 明倫小学校】

児童全員と教師そして父母も参加して作品を制作しました。子どもたちの素直で豊かな感性に溢れた作品を前に、教師や父母の大人たちが圧倒されてしまった感があるほど、本当に素晴らしい作品が出来上がりました。



【in百年記念ホール】

幼児から大人まで幅広い層の方々に参加していただきました。特に子どもたちは、詩人のように豊かな表現力で言葉の使い方がうまく、感動的な作品に仕上がりました。



- (2) マイファーストブックサポート、北の本箱、スワディ講座、図書テーマ展示、ふらっとあへと展、ボランティアグループによる読み聞かせや紙芝居など、図書館活動を実施中です。





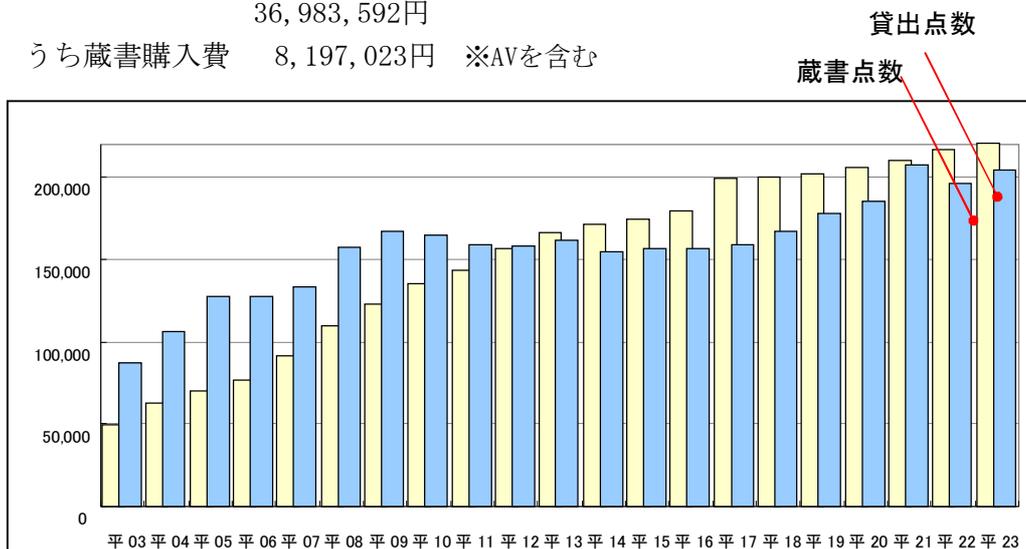
平成23年度の主要データ

蔵書点数①	220,418冊	
貸出点数②	204,644冊	
貸出者数③	53,206人	※館内閲覧・行事参加を除く
総利用者数④	72,737人	※館内閲覧・行事参加を含む
町の人口⑤	27,557人	(平成23年度末)
登録者数⑥	18,792人	
開館日数⑦	292日	
移動図書館者運行日数	168日	
蔵書密度	8.0点	①÷⑤ (町民1人当たり蔵書点数)
貸出密度	7.4点	②÷⑤ (町民1人当たり貸出点数)
実質貸出密度	10.9点	②÷⑥ (登録者1人当たり貸出点数)
資料回転率	0.93	②÷① (蔵書の貸出率)
登録率	68.2%	⑥÷⑤ (町民の登録率)
1日平均貸出点数	700.8点	②÷⑦
本館	299.7点	※BM含む
札内分館	318.3点	
忠類分館	82.8点	
1日平均貸出者数	182.2人	③÷⑦
本館	75.7人	
札内分館	81.8人	
忠類分館	24.8人	
1日平均総利用者数	249.1人	④÷⑦
本館	98.0人	※BM含む
札内分館	115.4人	
忠類分館	35.7人	
町民1人当たり利用回数		③÷⑤ 1.9回

図書館管理費決算額

36,983,592円

うち蔵書購入費 8,197,023円 ※AVを含む



報告第7号 幕別町百年記念ホール指定管理について

- (1) 施設の名称 幕別町百年記念ホール
- (2) 指定の期間 平成25年4月1日から平成32年3月31日まで
- (3) 内 容 別添資料参照

報告第8号 『歴史の散歩道』の新規選定について

- (1) 箇所名 ①チョマナイ山（丸山）のコメンド岩
②大正金時発祥の地
- (2) 内 容 別添資料参照

3 その他

幕別町百年記念ホール指定管理について

1 趣 旨

平成15年6月に地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法律」という。）が一部改正され、

指定管理者制度は、「公の施設」の管理について、民間の能力を活用することにより住民サービスの向上と経費の節減を目指すため、導入された制度です。

また、従来の管理委託制度とは異なり、地方公共団体の出資法人や公共団体等に限らず、民間事業者も議会の議決を経て「公の施設」の管理を行う指定管理者となることができる制度です。

幕別町教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、幕別町百年記念ホール（以下「記念ホール」という。）の指定管理者の指定にあたり、広く事業者を公募し、運営管理について創意工夫のある提案を募集します。

2 指定期間

平成25年4月1日から平成32年3月31日まで（7年間）

3 応募資格

十勝管内に本社または主たる事業所を置く法人その他の団体

4 指定管理者の公募及び選定の方式

指定管理者の公募及び選定の方式は、公募型プロポーザル方式を採用し、幕別町指定管理者選定委員会（以下「選定委員会」という。）において、申請者から提出された書類にプレゼンテーションを加味して審査を行い、交渉権者を優先順位を付けて選定します。

5 指定管理導入スケジュール

(1) 公募の周知	平成24年9月1日
(2) 公募要項の配布開始	9月3日
(3) 公募説明会及び施設見学会の開催	9月14日
(4) 施設設計図書の閲覧	9月14～21日
(5) 質問の受付	9月14～21日
(6) 質問への回答	9月28日
(7) 申請書類の受付	10月1～2日
(8) 第1次審査（資格審査及び書類審査）	10月5日
(9) プレゼンテーション実施通知	10月5日
(10) 第2次審査（評価審査・プレゼンテーション）	10月23日

(11) 優秀提案者の公表	11月1日
(12) 仮協定の締結	11月下旬
(13) 指定管理者の指定・債務負担行為議決	12月予定
(14) 協定の締結	平成25年1月予定
(15) 予算議決	3月予定
(16) 指定管理者による業務開始	4月1日

5 指定管理者候補者の選定結果について

平成25年度からの幕別町百年記念ホールの指定管理者を募集し、「幕別町百年記念ホール」指定管理者候補者選定基準に基づき、申請資格審査、書類審査および評価審査（プレゼンテーション）を実施した結果、合格点数に達した次の2団体を指定管理者候補者として選定しました。

合格点に達した指定管理者候補者が2団体となったため、点数の高い順に第1交渉権者、第2交渉権者としました。

なお、このあと指定管理者候補者の第1交渉権者から、協定書（契約書に代わるもの）の内容について協議し、仮協定書を交わすことができた候補者について、地方自治法第244条の2第6項の規定により、幕別町議会の議決を経て、指定管理者を指定します。

◆応募者数

2団体

◆指定管理者候補者

第1交渉権者

【名称】 NPO法人まくべつ町民芸術劇場

【所在地】 中川郡幕別町字千住180番地の1

【代表者】 理事長 村谷 勝司

第2交渉権者

【名称】 株式会社 オカモト

【所在地】 帯広市東4条南10丁目2番地

【代表者】 代表取締役 岡本 謙一

◆評価結果

第1交渉権者（平均点数） 120.2点／150点

第2交渉権者（平均点数） 115.4点／150点

※選定における合格点は、選定委員の採点の平均点数が105点以上としています。

◆選定理由

公演事業の実績を有しており、当該施設の効果を高め、町の文化振興を図るとともに、適正な運営管理の確保が期待できるため。

『歴史の散歩道』の新規選定について

1 選定案件

①箇所名（88番） チョマナイ山（丸山）のコメンド岩

昔、海賊が埋蔵金を埋めたという伝説をはじめ、多くの話題を持ち、地元住民に親しみの深いチョマナイ山（丸山）は、地球の地核が表面を破り隆起して生成されたもので、非常に珍しく、近くの山々には同じ生成の山はない。

この山を生成している岩石は、昭和9年（1934年）10月、北大の根本忠寛博士により、日本では島根県隠岐島にしかないコメンド岩であると確認された。コメンド岩は、アルカリ性に富む流紋岩の一種で、およそ1,000万年前の中新世時代、海底火山の噴火によって生まれたものと見られ、その生成の歩みは、私たちの住む十勝の大地創成の歩みである。

②箇所名（89番） 大正金時発祥の地

昭和9年（1934年）、畑作の品種改良に熱心な幕別町途別の中村豊語氏が、栽培した金時の中から早生大粒の一株を発見し、採種増殖した。

昭和13年に、『鶴金時』として幕別農会主催の品種改良競技会に出品し入賞し、その後に、北海道農業試験場十勝支場では十勝に適した品種であると推奨し、昭和29年から奨励品種決定調査がはじめられた。

その後、大正農協が大々的に作付けを奨励し、十勝管内全域に広がり、昭和30年に『大正金時』の銘柄設定となり、昭和32年に奨励品種に決定され、現在もなお、金時の主力品種である。

2 選定の流れ

①11月15日 選定協議会

※幕別町ふるさと館事業委員会の2名の委員と、幕別町しらかば大学ナウマン校役員により、選定に関する協議を行う。

②11月19日 社会教育委員会会議

※選定協議会の結論について報告する。

③11月30日 教育委員会会議

※選定協議会の報告事項として承認を受ける。

④平成24年度 案内マップへ掲載（マップ印刷及びHP掲載）

⑤平成25年5月下旬 案内看板設置（H25年度予算対応）

3 今後の選定の流れ

次年度以降は要綱を整備し、随時選定作業を進める。なお、選定にあたっては、年1回の選定協議会の開催とし、翌年度の看板設置の予算確保から、毎年11月に開催することとする。

また、今後は選定のみならず、更なる活用について検討を行う。(案内マップ掲示・配布、HP掲載、町民史跡めぐり等)

※ 参考 『歴史の散歩道』経緯

歴史の散歩道は、平成9年度に「北の生活文化振興事業補助金」を受けて、幕別町開基100年の歴史を振り返り、歴史的、文化的史実等を形として残し後世に伝え、地域の歴史と文化に触れ合うことができる環境を作るとともに、子ども達が郷土の歴史と文化を学習することができる環境を整えるため、幕別町ふるさと館事業委員会に、候補地の選定、調査及び説明文の作成を行っていただき、72ヶ所を案内マップに掲載し、石碑や案内設備のない所の17ヶ所に案内看板を設置しました。

町村合併後の平成20年度には、忠類地区で同様の選定をするため、幕別町しらかば大学ナウマン校役員と幕別町ふるさと館事業委員会の2名の委員に、候補地の選定、調査、説明文の作成を行っていただきました。その際、当初16ヶ所の候補地が上がりましたが、場所の確定が出来ない等の理由から、最終的には14ヶ所を案内マップに掲載、7ヶ所に案内看板を設置しました。

また、平成23年度には、忠類地区で『大樹大麦発祥の地』として選定要望があり、選定協議会の開催を経て、案内マップの掲載及び案内看板を設置しました。

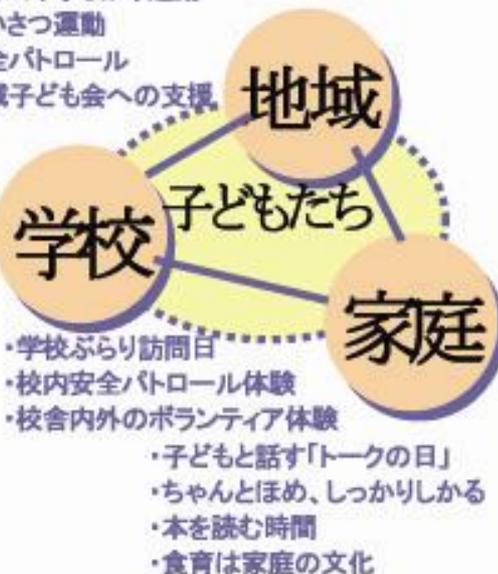
以上により、現在、87ヶ所を案内マップに掲載し、25ヶ所に案内看板を設置しております。

毎月19日は まくべつ教育の日

たとえばこんなこと

- ・子ほめ、子しかり運動
- ・あいさつ運動
- ・安全パトロール
- ・地域子ども会への支援

いっしょに読む・食べる
いっぱい遊ぶ・話す
しっかり聞く・見る



○幕別町教育の日憲章

わたくしたちは、自己を高め、明るく豊かな暮らしが営めるよう、毎月19日を幕別町教育の日と定め、ふれあい、響きあい、磨きあいながら、ともに伸びる教育をめざします。

- 1 あたたかい家庭をめざして
 - ・家族だんらんの機会をふやし、子どもの自主性と個性、やさしい心を育てます。
 - ・家族が協力して、子育てにあたります。
- 2 あかるい地域をめざして
 - ・子どもは地域の宝、まちの宝、あたたかく成長を見守ります。
 - ・子どものために、よりよい環境をつくれます。
- 3 たのしい学校をめざして
 - ・ゆとりある教育をめざし、豊かな心をはぐくみます。
 - ・来て・見て・知って、みんなで学校づくりにつとめます。

子どもをまん中に
家庭・地域・学校が一つに